

64年の東京五輪 聖火トーチ展示

東洋学園大

聖火リレーで使われたトーチなど1964年の東京五輪ゆかりの品々が9月25日まで、文京区本郷1の東洋学園大学1号館で展示されている。写真。2020年の東京五輪を盛り上げようと企画された。トーチはステンレス製で長さ63センチ、重さ

1・2キロ。実際に手にすることもできる。同大第6代学長の愛知揆一氏が東京五輪時に文相と五輪組織委員



会理事を務めていた関係で、大学資料室の倉庫に保管されていたという。展示会ではこのほか、開会式で着用し

た日本選手団公式ユニホームや五輪旗なども飾られている。

同大は「当時の情熱をよみがえらせ、思いを4年後につないでほしい」と話している。

午後1〜5時、入場無料。閉館は18、19日と土、日、祝日、および9月1〜9日。問い合わせは同大総務課(03・3811・1696)。

【清水隆明】